

## 研究要旨

### 教員特別研究推進

No.	テーマ	学部	代表者	
1	夏休みファーマカレッジ2021	薬	教授	吉成 浩一
2	大学体育における運動不得手学生のテニス技術を向上させる心理教育指導の試み	薬	准教授	窪田 辰政
3	アウトリーチ研究事業「漢方の基礎学習と薬草園見学会」2021	薬	教授	渡辺 賢二
4	異分野融合教育・研究の推進による静岡県のニーズにあった人材育成プログラムの構築	薬	教授	森本 達也
5	質の高い薬剤師を持続的に輩出するための薬剤師国家試験対策学修支援	薬	教授	山田 浩
6	遠隔指導における効果的・効率的な病院実務実習実施方法の構築	薬	教授	賀川 義之
7	研究マインドを持った臨床薬剤師養成のための教育プログラムの実践とアウトカム評価	薬	教授	伊藤 邦彦
8	PBLチュートリアル方式による症例基盤型学習における学年横断運用を目指した検討	薬	教授	内田 信也
9	キャリア意識の醸成を指向した薬学人教育の実施	薬	教授	眞鍋 敬
10	O-結合型糖鎖修飾による Notch 活性化制御メカニズムの解析	薬	教授	竹内 英之
11	抗おたふくかぜウイルス効果を示すカテキンの作用機構の解明	薬	准教授	高橋 忠伸
12	糖鎖科学に基づく革新的アルツハイマー予防法の創出	薬	講師	南 彰
13	人工ウイルス様粒子を用いたノロウイルス感染機構の解析	薬	助教	紅林 佑希
14	加齢に伴うサルコペニア改善を目指した選択的アンドロゲン受容体調節薬成分の探索のための基盤研究	薬	講師	菅野 裕一朗
15	肝細胞と肝星細胞のクロストークに着目した肝薬物代謝酵素の発現調節に関する研究	薬	助教	保坂 卓臣
16	化学物質による薬物代謝酵素誘導作用の個人差の原因解明	薬	助教	志津 怜太
17	柑橘フラボノイド類による膵β細胞アポトーシス抑制作用の機序解析	薬	教授	石川 智久
18	糖尿病の新規治療薬のシーズ探索	薬	准教授	木村 俊秀
19	オリーブ葉含有成分apigeninの膵β細胞を標的とした抗糖尿病効果の解析	薬	講師	金子 雪子
20	Ex vivo肝障害モデルを用いた肝線維化治療薬のスクリーニング系の確立	薬	助教	山口 桃生
21	フィブリンを標的としたナノセラノスティックス製剤の開発	薬	教授	浅井 知浩
22	糖尿病性腎症尿細管への薬物送達と脂質代謝異常の改善に基づく新規戦略の開発	薬	講師	米澤 正
23	敗血症治療に向けたプラスチック抗体開発	薬	講師	小出 裕之

24	マクロファージを標的としたナノ核酸医薬に関する基盤研究	薬	助教	宋 復燃
25	抗体医薬に対する抗イディオタイプDNAアプタマーのin silico錬成	薬	教授	轟木 堅一郎
26	キラルプロテオミクス実現のための異性化ペプチド分離分析法の開発	薬	准教授	水野 初
27	動植物体内におけるアミノ酪酸光学異性体全種の動態解析	薬	助教	杉山 栄二
28	大腸がん抑制作用を示すジオスゲニンの機能解明を志向した有機合成化学的アプローチ	薬	准教授	吉村 文彦
29	静岡県産海産物に含まれるアンセリンの合成研究と機能評価	薬	講師	稲井 誠
30	柑橘類の果皮に含まれるフラボノイド類の合成研究	薬	助教	大内 仁志
31	健康長寿都市の食文化に根ざした発がん予防エビデンスの確立	薬	講師	恒松 雄太
32	静岡県立大学付属薬草園植物群のゲノム情報と遺伝子異種発現システムを用いた創薬探索研究	薬	講師	佐藤 道大
33	キノコホルモン様活性を有する化合物群の生合成研究	薬	助教	岸本 真治
34	柑橘由来ポリメトキシフラボノイドの多機能性解明と食品素材への高度利用	薬	教授	尾上 誠良
35	難吸収性ポリフェノールの機能性微粒子化による薬物動態制御の新展開	薬	准教授	佐藤 秀行
36	経口吸収性改善技術の適用による難吸収性健康機能性成分の生物薬剤学的特性向上	薬	助教	山田 幸平
37	消化管吸収改善のための粘膜付着性ナノファイバーシートの開発	薬	教授	近藤 啓
38	ナノ粒子の表面物性とNose-to-Brain動態の統合的理解に基づく中枢標的経鼻送達ナノ技術の開発	薬	准教授	金沢 貴憲
39	湿式造粒により得られた湿潤造粒物の粘弾性に基づく造粒終点の定量的予測	薬	助教	照喜名 孝之
40	高吸収クルクミン製剤の脂質異常症に対する効果の検討	薬	教授	森本 達也
41	生活習慣病予防を指向した微生物発酵緑茶の臨床効果の検討	薬	講師	刀坂 泰史
42	静岡特産のマグロ・カツオ含有機能性成分アンセリンの心不全に対する効果検討	薬	講師	砂川 陽一
43	薬物誘発性不整脈評価のばらつきの変因について	薬	教授	黒川 洵子
44	筋萎縮治療薬開発を目指したオルガネライオンチャネル細胞内シグナル制御機構の解明	薬	准教授	坂本 多穂
45	間葉系幹細胞の機能的性差に基づいた組織線維化調節機構の解明	薬	助教	山口 賢彦
46	茶カテキンの咽頭滞留性に関する臨床的検討	薬	講師	古島 大資
47	調剤の標準化を目指した、錠剤粉砕物の顆粒剤化手法の確立	薬	准教授	宮寄 靖則
48	薬物皮膚浸透性改善のためのポリグリセロール誘導體含有ナノキャリアの開発	薬	講師	内野 智信
49	ナノ粒子アルブミン結合パクリタキセルとゲムシタピン併用療法の患者における投与終了早期の血漿中パクリタキセルおよびゲムシタピン濃度と有害事象との関連解明	薬	講師	大澤 隆志
50	精神疾患と酸化ストレスとの関連	薬	准教授	井上 和幸

51	食道癌DCF療法による重篤な骨髄抑制の発現と腫瘍縮小効果に影響する薬物応答性遺伝子多型の探索	薬	講師	辻 大樹
52	喘息治療薬が有効なCOPD患者を層別化するためのバイオマーカーの構築	薬	講師	平井 啓太
53	リン吸着薬の残薬チェックシートを用いた薬剤師の強化指導による血液透析患者の血清リン濃度の推移及び服薬アドヒアランスへの影響	薬	講師	柏倉 康治
54	バルーン肺動脈形成術前後における慢性血栓性肺高血圧症患者の薬物動態評価	薬	助教	田中 紫茉莉
55	関節リウマチ患者における血漿中 GlcNAc 濃度の変動要因の探索的評価	薬	助教	谷澤 康玄
56	空気中の酸素を利用する含窒素ヘテロ環化合物の効率的合成法の開発	薬	准教授	小西 英之
57	地域の保健衛生に貢献できるCDI治療への構造生物学的アプローチ	薬	教授	橋本 博
58	大腸がんを防ぐためにヌクレオソームを除去するSMARCAD1の構造解析	薬	准教授	原 幸大
59	環状RNAから合成される神経腫瘍抑制蛋白質のX線結晶構造解析	薬	助教	菱木 麻美
60	核酸オリゴマーの選択的化学修飾による物性変化とプロドラッグ化の検討	薬	教授	濱島 義隆
61	フロー型マイクロ波照射装置の適応拡大を目指したシステム構築	薬	准教授	江上 寛通
62	二環性フッ素化ピリミジンの合成と18F-PET標識化への応用	薬	助教	山下 賢二
63	高麗人参の疲労回復効果に関する研究	薬	講師	井口 和明
64	イグサ成分Effusolのストレス性認知機能障害に対する予防効果	薬	助教	鈴木 美希
65	単球系細胞上のG蛋白質共役型受容体による慢性炎症制御機構の解析	薬	教授	梅本 英司
66	レジオネラの宿主ファゴソーム内における生存・増殖に必要な鉄の供給を担うエフェクターの新規制御系の解析及びその変異による高病原性化機構の解明	薬	講師	三宅 正紀
67	リボソームを応用した経粘膜ワクチンによる感染症予防に関する研究	薬	講師	黒羽子 孝太
68	分子シャペロンを利用した分泌型IgA高発現植物の創出	薬	助教	中西 勝宏
69	静岡県産食品素材を用いた排尿トラブル改善食品の開発研究	薬	特任教授	山田 静雄
70	褐藻類アカモク抽出エキスの下部尿路障害への応用	薬	講師	伊藤 由彦
71	骨格筋メカノバイオロジーを基軸とする生体恒常性維持に関する研究	薬	教授	原 雄二
72	インフルエンザウイルス感染細胞内のシアリダーゼ活性の解析	薬	准教授	高橋 忠伸
73	化学物質の多面的プロファイリングによる毒性予測:発がん性試験代替法の開発	薬	教授	吉成 浩一
74	新たな治療標的の同定を目指した乳がんの悪性化におけるAHRの役割の解明	薬	講師	菅野 裕一朗
75	化学物質のリスク評価の精緻化に向けた肝発がんの発症機序及びヒト齧歯動物間種差の解明	薬	助教	志津 怜太
76	膵β細胞におけるセロトニン代謝異常の妊娠糖尿病発症への関与	薬	教授	石川 智久
77	ナノ粒子受容体分子を標的としたmRNAデリバリーシステムの開発	薬	教授	浅井 知浩

78	温度に応答して標的分子を吸着・放出するプラスチック抗体開発とがん治療応用	薬	講師	小出 裕之
79	新型コロナウイルス検出および治療薬シーズとなる人工核酸分子の探索	薬	教授	轟木 堅一郎
80	オンチップ誘導体化による単一生細胞質量分析法の高感度化	薬	准教授	水野 初
81	N-シリルケテンイミンの特性を活用する反応開発と生物活性天然物の全合成	薬	准教授	吉村 文彦
82	腸内細菌が産生する大腸がん新規リスク要因コリバクチンの発がん機序解明と予防法の確立	薬	教授	渡辺 賢二
83	トロイの木馬戦略に基づく新モダリティ医薬開発	薬	講師	恒松 雄太
84	印刷工学技術とナノ粒子設計技術の融合による革新的経肺 DDS プラットフォーム開発	薬	准教授	佐藤 秀行
85	NASH根治に向けた活性型肝星細胞を標的とする時間治療型ナノDDS基盤技術の開発	薬	准教授	金沢 貴憲
86	ドキシソルビシン心筋症発症に関わるp300の蛋白分解制御機構の解明	薬	教授	森本 達也
87	男女差を考慮した新規心毒性評価系の開発	薬	教授	黒川 洵子
88	敗血症横紋筋不全における性染色体由来性差の解明	薬	准教授	坂本 多穂
89	認知症患者における行動・心理症状発現と第2世代治療薬の体内動態との関連	薬	教授	賀川 義之
90	バイオ医薬品治療過程における乾癬患者の角層細胞間脂質の構造および組成の評価	薬	講師	内野 智信
91	化学療法誘発性悪心・嘔吐に対するパロノセトロン、アプレピタント、オランザピンによる3剤併用制吐療法の有効性および安全性を検討する多施設共同第Ⅱ相試験(PATROL-I試験)	薬	講師	辻 大樹
92	ステロイド抵抗性機序に立脚した重症喘息患者の治療決定のための血中バイオマーカーの構築	薬	講師	平井 啓太
93	複製が完了したDNAからPCNAを除去する分子メカニズムの解明に向けた基盤整備	薬	教授	橋本 博
94	抗がん剤耐性の獲得を防ぐShieldinの再構成と構造解析	薬	准教授	原 幸大
95	2つの経路で腫瘍細胞の増殖を維持するユビキチンリガーゼの構造解析	薬	助教	菱木 麻美
96	光励起性還元剤の探索と有用分子変換反応への応用	薬	教授	濱島 義隆
97	アルケンのフッ素化を基盤とする含フッ素糖類の選択的合成法の開発	薬	准教授	江上 寛通
98	光化学反応の不斉触媒化を指向したキラルイオン対会合型ケトン触媒の開発	薬	助教	山下 賢二
99	SGLT2変異モデルによる高糖質摂取と運動のエネルギー代謝に対する影響	薬	講師	井口 和明
100	マラヤ大学との大学間協定締結を志向した機能性食品の共同開発	薬	講師	南 彰
101	国際共同研究を通じたインドネシア・バンドン工科大学との交流プロジェクト	薬	教授	森本 達也
102	「健康長寿」に関するCOIL教育を通じたカリフォルニア大学デービス校との国際連携の新規開拓事業	薬	教授	黒川 洵子
103	日本学術振興会 国際交流事業 研究拠点形成事業	薬	教授	渡辺 賢二
104	食品栄養科学部に適した理数、データサイエンスおよびAIを教育するための専門教育科目「応用統計学」と「情報科学」の改善	食品	教授	栗木 清典

105	専門職(管理栄養士)のキャリア形成を促す臨床栄養師実践演習プログラムの拡充および事業の整備	食品	教授	新井 英一
106	総合食品学講座による実学的教育	食品	准教授	伊藤 創平
107	情報科学と食品生命科学の融合による新規バイオ素材創出に向けた配列デザイン法の開発と応用	食品	准教授	中野 祥吾
108	管理栄養士養成課程における「調理科学実験」の充実	食品	講師	江口 智美
109	殺虫効力増強剤(S-421)による複合的神経伝達攪乱能に関する研究	食品	教授	牧野 正和
110	ハッサク果皮抽出物粉末は、転写調節因子PGC-1 $\alpha$ の活性化を介して骨格筋のミトコンドリア生合成、筋線維タイプ変化を引き起こすか	食品	教授	三浦 進司
111	静岡県に生息するニホンジカの食資源化に向けた、シカ肉特性の地域比較および新たなシカ肉製品の開発・評価	食品	教授	市川 陽子
112	糖尿病患者の継続的咀嚼が血糖コントロール及び体重に及ぼす影響の検討	食品	教授	保坂 利男
113	微生物の酸化還元プロセスを利用した微量有害無機元素除去による水質改善	食品	教授	谷 幸則
114	昆虫を活用した新たな水産養殖用飼料の開発	食品	教授	小林 公子
115	成分分析に基づく静岡県産抹茶の特徴付け	食品	教授	熊澤 茂則
116	現場に適用できる小型ワサビ高速栽培に関する環境制御プロトコルの開発—苗生産を促進する環境条件の追及—	食品	教授	谷 晃
117	不登校生徒の教育介入による精神的健康状態、家族機能、QOLの評価	食品	教授	桑野 稔子
118	内外因性アルデヒド類による皮膚老化に関する研究—健康長寿を維持する食・住環境の重要性	食品	教授	伊吹 裕子
119	静岡県内におけるマダニ媒介感染症の起因病原体に関する研究Ⅴ(静岡県環境衛生科学研究所との共同研究)	食品	教授	大橋 典男
120	ニホンウナギ完全増養殖の高度化を可能とする育種のための生殖幹細胞の基盤情報整備	食品	教授	小林 亨
121	多文化共生社会を目指した地域社会及び学校教育の変容に関する調査研究	食品	教授	角替 弘規
122	食品系における濃厚エマルションを希釈した際の分散状態の評価	食品	教授	下山田 真
123	$\beta$ -Damascenone 類縁体について網羅的合成法及び風味増強効果の検討	食品	教授	江木 正浩
124	静岡県の特産品「自然薯」の有効成分ジオスゲニン高生産	食品	准教授	三好 規之
125	都市鉱山資源からの複数のレアメタル同時分離法の開発	食品	准教授	永井 大介
126	静岡県産バイオマスからのファインケミカルの発酵生産	食品	准教授	原 清敬
127	FIZZを用いた時系列感覚評価による銘柄緑茶フレーバーの「見える化」	食品	准教授	伊藤 圭祐
128	内臓神経を介した脂肪機能調節機構の解明並びに健康増進への応用	食品	准教授	内田 邦敏
129	チャ(茶)のゲノム情報を活用したテアニン高生産株の育種	食品	准教授	田村 謙太郎
130	廃棄される静岡産原木栽培シイタケの有効活用・有用酵素の発現誘導と利用	食品	准教授	河原崎 泰昌
131	放線菌の潜在能力の覚醒による新規 $\beta$ ケトアジピン酸経路の発掘	食品	准教授	鮎 信学
132	自治体の飲食店等における食環境整備制度の実施状況や店舗の登録基準に関連する要因の検討	食品	講師	串田 修

133	カーシートに含有する新規代替難燃剤の網羅的分析と経皮曝露評価	食品	助教	三宅 祐一
134	駿河湾深海に棲息する微生物の探索と希少カロテノイド生産	食品	助教	菊川 寛史
135	スチームコンベクションオーブンをを用いた粥のクックチル炊飯条件の検討と調理・生産現場における効果的な活用に関する研究	食品	助教	大槻 尚子
136	乳酸菌培養上清中に含まれるメイラード反応抑制物質の同定および糖化による皮膚の老化抑制効果の検討	食品	助教	島村 裕子
137	高効率な排水中抗菌剤除去技術の開発とその費用対効果解析	食品	助教	徳村 雅弘
138	昆虫は持続的な脂質・栄養の供給源となるか？～ミールワーム、イエバエ、カイコを用いた検討～	食品	助教	大原 裕也
139	微生物の違いによる新規発酵茶の成分特性と生体機能性に関する研究	食品	助教	斎藤 貴江子
140	生活習慣病予防のための食生活の意識および実践状況と食事摂取状況の関連	食品	助教	亀山 詞子
141	静岡ガス(株)ビオトープ内に生息するマシジミの増養殖のための完全養殖法の確立	食品	助教	明正 大純
142	未利用資源マグロの頭部から抽出したエラスチン、プロテオグリカンによる皮膚コラーゲン増加効果の作用メカニズムの解明	食品	助教	寺田 祐子
143	消毒副生成物ヨード酢酸による塩基除去修復阻害の検討	食品	助教	小牧 裕佳子
144	無症候性高尿酸血症の患者特性による栄養指導効果の差異の検討および身体活動量や骨格筋量を指標とした個別化栄養教育法の構築	食品	助教	川上 由香
145	食・環境・健康の研究推進と情報発信による地域貢献	食品	特任教授	若林 敬二
146	コロナ禍に対応した抗ストレス茶の開発と学生に美味しいお茶を!!プロジェクトの推進	食品	特任教授	中村 順行
147	地(知)の拠点としての「ふじのくに発イノベーション推進機構」体制の整備	食品	特任教授	合田 敏尚
148	非アルコール性脂肪性肝炎の病態形成に関わる新規アディポカインの同定	食品	准教授	細岡 哲也
149	骨格筋の萎縮を抑制する食品栄養成分の探索	食品	助教	吉岡 泰淳
150	トマト未利用資源由来トマト葉抽出エキスの抗がん効果および作用機序の探索	食品	助教	佐藤 友紀
151	静岡県の日本紅斑熱およびその関連感染症における疫学的解析を中心とした実態解明に関する研究	食品	助教	蘇 泓如
152	豆乳の物性制御による製品価値の更なる向上に向けたタンパク熱変性予測モデルの探索	食品	助教	村上 和弥
153	硫黄不均化細菌を用いた重金属イオン除去の検討	食品	助教	梅澤 和寛
154	カロリー制限が動脈硬化性疾患の発症を予防するメカニズム～転写因子FOXO1発現による骨格筋性状変化を介した新規メカニズム～	食品	教授	三浦 進司
155	概日リズム・時計遺伝子と健康	食品	教授	小林 公子
156	変異・発がん物質グリシドールのヘモグロビンアダクト生成に関与する影響因子の解明	食品	教授	増田 修一
157	営農型太陽光発電における太陽電池パネル下の光強度シミュレーションモデルの開発	食品	教授	谷 晃
158	児童の尿中コチニン濃度を用いた受動喫煙評価による食生活・生活習慣との関連	食品	教授	桑野 稔子
159	地球温暖化による皮膚温度の上昇がもたらす皮膚がん増加と食品中フラボノイドによる予防戦略	食品	教授	伊吹 裕子

160	24時間蓄尿を用いた生体のマグネシウム欠乏状態の把握法の妥当性評価および改善に対する栄養管理の探索	食品	教授	新井 英一
161	バイオマス由来グラフェンと絶縁性ポリマーの高分散ブレンド法の開発と導電化	食品	准教授	永井 大介
162	畜肉フレーバーの感知に関わるヒト嗅覚受容体の網羅的探索	食品	准教授	伊藤 圭祐
163	光学活性化化合物の酵素合成が可能な祖先型L-アミノ酸酸化酵素のX線結晶構造解析	食品	准教授	中野 祥吾
164	黄色ブドウ球菌由来膜小胞が誘導する皮膚の炎症反応に皮膚細菌が及ぼす影響	食品	助教	島村 裕子
165	腸管感覚系／腸管神経系による腸管バリア機能調節機構と食品成分・腸内細菌代謝産物の作用	食品	助教	唐木 晋一郎
166	ミナミメダカの孵化稚魚を用いた甲状腺ホルモン作用化学物質の高感度な新規検出法の開発	食品	助教	明正 大純
167	消毒副生成物ハロアセトニトリル類の高倍数体化誘導のメカニズム解明	食品	助教	小牧 裕佳子
168	韓国産ビーポーレンの有効利用を目指した成分分析と機能性評価	食品	教授	熊澤 茂則
169	静岡県立大学の男女共同参画におけるコロナ禍での地域ジェンダー平等と女性支援啓発地域連携事業に関する基礎研究	国際	教授	犬塚 協太
170	European Studies の研究ツール開発に関する研究(4)	国際	教授	栗田 和典
171	コロナ禍において、学生が抱える困難とその対処について:困難状況下における学生のレジリエンスの育成	国際	教授	津富 宏
172	国際関係学部日本語教員養成課程における日本語教育実習について	国際	教授	水野 かほる
173	ボアジチ大学との交流事業の継続と向上を目指して	国際	准教授	佐藤 真千子
174	コロナ禍におけるヨーロッパ地域研究と学習支援	国際	准教授	森 直香
175	日本語運用技術力の向上のための実際的教授法	国際	准教授	竹部 歩美
176	スコットランド・ゲール語を通じた教育と教員養成の効果的取組みの研究	国際	准教授	米山 優子
177	ブルーストとラスキンによる『アミアンの聖書』と『胡麻と百合』校訂版作成	国際	講師	浅間 哲平
178	学生に対する法教育のあり方に関する予備的検討:実践的法教育の有用性	国際	講師	石川 義道
179	学生参画型の東アジア学術・文化交流の拠点整備(その4)	国際	教授	奥菌 秀樹
180	言語内的瞬間性と感情表出:大学における英文法教育に資する日英語構文研究	国際	准教授	田村 敏広
181	静岡県内地域社会と大学を結ぶ地域間交流によるSDGs活動の展開	国際	教授	湖中 真哉
182	ポストコロナに向けた地方のソフトパワーと国家ブランディングの研究	国際	教授	小針 進
183	「移動大学」の生涯教育実践と自発的な参加による学び合う場との邂逅—静岡市地域福祉センターとスタディサークルにおける民主的な参加を促す学習機会—	国際	教授	澤田 敬人
184	外国にルーツを持つ子どもたちの日本語教育支援(第3期)	国際	教授	高畑 幸
185	市民基盤の政策形成の仕組みづくり:市民自治に向けて	国際	教授	津富 宏
186	河井家文書と日本政治(河井重蔵・弥八を中心に)	国際	教授	前山 亮吉
187	戦時・戦後期における啓蒙運動とメディア	国際	教授	森山 優

188	コロナウイルス感染症の下で漂流する世界と静岡県経済・企業への影響	国際	講師	宮崎 晋生
189	在日外国人の音楽活動—フィリピン人集住地域(静岡、愛知、首都圏)におけるコミュニティ形成と共棲	国際	教授	米野 みちよ
190	コミュニティ通訳の充実のための予備的研究(5):その現状と課題	国際	教授	水野 かほる
191	近代インド宗教史研究と比較文化教育への新聞データベース活用——「裾野のDH」の試み	国際	准教授	富澤 かな
192	SDG下におけるポストコロナを見据えた東南アジア海外援助政策共同研究	国際	教授	古川 光明
193	オンライン、オフラインを組み合わせたアクティブラーニング・プログラムの開発	経情	教授	上野 雄史
194	欧州における静岡県産農産物のブランド戦略構築に関わる実証的研究	経情	教授	岩崎 邦彦
195	地方創生×SDGs:静岡県内市町が先進自治体から学ぶものは何か	経情	教授	小西 敦
196	地域包括ケアシステムにおける医療と介護の連携に関する研究	経情	講師	木村 綾
197	生産効率向上に向けた農業環境ビッグデータの可視化技術の研究	経情	准教授	大久保 誠也
198	ホテル・旅館における流通チャネル別付随販売の売上利益貢献分析について	経情	特任教授	北上 真一
199	本学設置の自立型防災通信ステーションの改良に関する研究	経情	教授	湯瀬 裕昭
200	ICTイノベーション研究センターを基盤とした産官学民連携活動の推進に関する研究	経情	教授	武藤 伸明
201	人材不足解消に向けた県内中小企業の人的資源管理に関する研究	経情	准教授	上原 克仁
202	静岡における社会保障制度の在り方に関する研究	経情	教授	藤本 健太郎
203	EBPM(証拠に基づく政策立案)による予算編成改革の課題と可能性	経情	准教授	森 勇治
204	プロジェクト・ベースド・ラーニングを活かした地元企業との協働プロジェクト	経情	准教授	国保 祥子
205	自治体が実施する効果的な介護予防事業のコンテンツ開発に関する研究	経情	教授	東野 定律
206	ポストコロナを見据えた静岡県観光戦略の調査研究	経情	教授	大久保 あかね
207	リーディング・インダストリーの変遷と第2期地方創生のあり方～地域の持続可能性を左右する産業の地理的配置～	経情	特任教授	西野 勝明
208	自治体のデジタル化、デジタル・トランスフォーメーションの進捗度に関する研究	経情	講師	松岡 清志
209	経営環境変化に伴う長寿企業の経営行動に関する研究	経情	教授	落合 康裕
210	ヨーロッパの大学との国際推進事業のプログラム化の開発:連携から協働へ	経情	教授	上野 雄史
211	B型肝炎患者・家族による患者講義の方法および内容に関する検討	看護	教授	田中 範佳
212	B型肝炎の教育普及のためのDVD動画の教育評価	看護	教授	操 華子
213	令和4年度カリキュラム改正に伴う看護実践能力獲得に関する臨地実習における教授方法の検討	看護	教授	山田 紋子
214	新型コロナウイルス感染症対策下での看護実践能力獲得に向けた看護学教育に関する実践研究	看護	教授	林 みよ子
215	メンタルヘルスにおける支援プログラム開発とフォローアップ調査	看護	教授	篁 宗一



216	コロナ禍にある小児看護学領域における学内実習の評価と静岡県立こども病院看護部との連携	看護	教授	山下 早苗
217	明治期から現在における看護と看護教育の歴史的変遷－生活行動援助の視点から－	看護	准教授	山口 みのり
218	看護ケアにおける看護師の前腕の汚染に関する実験的検証	看護	講師	加藤 京里
219	教育用電子カルテを用いた学内実習の教育効果－COVID-19による臨地実習の補完学修として－	看護	講師	管原 清子
220	国際看護教育における学生の文化的能力促進学習プログラム改訂版の実施と最終評価	看護	講師	根岸 まゆみ
221	在宅看護学実習における臨床判断能力育成に向けたシミュレーション試験の検討	看護	講師	加納 江理
222	臨床判断能力向上におけるシミュレーション教育プログラムに関する検討	看護	助教	松裏 豊
223	看護学生の高齢者イメージと高齢観の変化をとらえた老年看護学教育の検討	看護	准教授	成瀬 早苗
224	The effect of diesel exhaust particles on lung epithelial tight junction proteins	看護	助教	ヘムストック ウェンディ リアン
225	ターミナル期にある小児がんの子ども意思決定を支援する看護師の倫理的苦悩の意味づけに関する質的研究	看護	助教	丸山 始美
226	子宮脱整復・ペッサリー自己着脱技術を獲得するための“子宮脱モデル”および患者教育プログラムの開発	看護	教授	荒井 孝子
227	静岡県における地域在住高齢者のフレイルの実態とフレイル予防活動の効果	看護	准教授	永谷 幸子
228	有期駐在外国人妊婦のための防災教育に関する研究	看護	講師	福島 恭子
229	医療の場における「やさしい日本語」のシナリオ集の作成－多言語音声翻訳ツールを活用して－	看護	講師	濱井 妙子
230	新型コロナウイルス感染症流行渦における「妊娠中夫婦向け産後うつ予防プログラム」の効果の検証	看護	助教	高木 静
231	パートナーが妊娠期にある父親に対する助産師による育児支援プログラムの検討	看護	助教	大和田 裕美
232	COVID-19感染症流行下にて介護老人保健施設の看護師が直面する高齢者看護の問題に関する実態調査	看護	助教	飯塚 真樹
233	座位姿勢にて呼吸数と脈拍数を測定できる非侵襲・非接触センサの信頼性・妥当性の検討	看護	助教	中岡 正昭
234	COVID-19(コロナ)の感染拡大による重症心身障がい児の看護実践の現状と課題	看護	助教	池田 麻左子
235	多環芳香族化合物によるサイトカイン産生増強活性機構の追跡	看護	助教	三崎 健太郎
236	訪問看護師が実施する末梢静脈留置カテーテル穿刺に関する研究	看護	助教	倉本 直樹
237	トルバプタンを導入する常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)患者に対するセルフマネジメント支援の検討	看護	助教	榊 みのり
238	新型コロナウイルス感染拡大による長期的な面会制限下にある介護老健保健施設高齢者の心的影響	看護	助教	宮澤 典子
239	就労女性への認知行動療法を取り入れた健康教育プログラムの検討－健康教育プログラム実施後の更年期女性の語りから－	看護	講師	永谷 実穂
240	トランスランゲージングが大学生の英語ライティングに与える影響	言コミ	特任講師	相羽 千州子
241	Use of the first language in reading classes as a means to enhance students' reading comprehension.	言コミ	特任講師	Arshavskaia Ekaterina
242	The ongoing development and implementation of a speaking evaluation rubric for first-year students of the Language and Communication Research Center	言コミ	特任講師	James Herbach
243	感情表現における言語と身体の関係とその教育的含意 SPAC俳優による参加型共同実践のワークショップをとおして	言コミ	特任講師	小田 透

244	患者の行動変容を導く動機づけ技法の修得を目指す対人援助型コミュニケーション能力育成プログラム	短大	教授	仲井 雪絵
245	模擬患者 (Simulated Patient: SP) 参加型シミュレーション教育の学修方略の検討	短大	准教授	長谷 由紀子
246	介護福祉士のポジショニングスキル熟達過程の経験に関する研究	短大	准教授	木林 身江子
247	特別養護老人ホームにおける介護職員の利用者への「触れ方」の知識について	短大	助教	大石 桂子
248	マトリックスメタロプロテアーゼの発現を減少させるサイトカイン混合物の探索	短大	教授	吉田 直樹
249	COVID-19流行下における就業歯科衛生士の感染予防対策とヘルスリテラシーの関連	短大	准教授	野口 有紀
250	津久井やまゆり園障害者殺傷事件の社会学的分析Ⅲ	短大	教授	佐々木 隆志
251	保育現場における描画アセスメントの可能性: 新任保育者を対象に	短大	教授	小林 佐知子
252	災害時に誰一人取り残さない「リアルHUG(実践的避難所運営訓練)」マニュアルの開発	短大	准教授	江原 勝幸
253	8時間働けば普通に暮らせる社会の実現に向けて	短大	准教授	中澤 秀一
254	図画工作科・美術科の授業における「触る行為」についての研究	短大	准教授	藤田 雅也
255	「不思議」というワクワク感から始まる食育の効果	短大	准教授	副島 里美
256	COVID-19流行下における成人のeヘルスリテラシーと新しい生活様式の実践との関連	短大	准教授	野口 有紀
257	アイルランド、スコットランド、ウェールズのケルト文芸復興運動家たち——交流の軌跡と影響関係	短大	講師	有元 志保

学部研究推進

No.	テーマ	学部	代表者	
1	革新的薬物療法開発を指向した創造的薬剤研究の新展開	薬	教授	尾上 誠良
2	多分野横断を基盤とした薬食研究および教育の推進	薬	教授	梅本 英司
3	食品栄養科学部における学部発展のための教育改革と研究推進	食品	教授	伊吹 裕子
4	令和3年度食品栄養科学部改革推進費	食品	教授	三浦 進司
5	食品栄養科学部および大学院食品栄養科学専攻・環境科学専攻学生への就職支援	食品	教授	増田 修一
6	部局高等教育の活性化ー分析機器の保守および研究成果発表の推進	食品	教授	熊澤 茂則
7	海外授業及び海外フィールド・ワークの実践(継続)	国際	教授	小針 進
8	静岡におけるヨーロッパ文化の発見ーポスト・コロナ時代の国際関係学の模索ー	国際	講師	浅間 哲平
9	伝統武術・スポーツのグローバル化と社会的影響に関する領域横断的研究	国際	教授	奈倉 京子
10	ムセイオン静岡を通じた地域一体型教養教育モデルの探究(3)	国際	特任教授	富沢 壽勇
11	日本語COIL・国内COILのための大学間授業連携のとりくみ	国際	教授	澤崎 宏一
12	国際関係学部・研究科の広報戦略に関する研究	国際	准教授	森 直香
13	看護教育における初年度科学教育と専門教育の連携についてー基礎健康科学演習を含めた初年度教育の充実と専門教育への橋渡しモデルカリキュラムの提案ー	看護	教授	太田 尚子
14	コンケン大学看護学部、米国等大学の国際交流に関する研究	看護	教授	太田 尚子
15	看護教育拡充に係る教育・研究環境の整備	看護	教授	太田 尚子
16	地域住民と地域の看護者との交流を生かした看護者基礎教育の推進	看護	教授	太田 尚子・ 富安 眞理
17	歯科衛生学科における将来構想を見すえた教育改革と教育研究の推進	短大	教授	仲井 雪絵